

型 式：アビアシュド式ミストラルJ-R532L型超軽量動力機（複座）
識別番号：JR1184（（財）日本航空協会識別番号）
発生場所：茨城県西茨城郡岩間町大字押辺字新橋2086-4の空地
発生日時：平成8年6月16日 11時05分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JR1184は、平成8年6月16日11時05分ごろ、操縦者及び同乗者が搭乗し、茨城県西茨城郡岩間町の空地において着陸復行し右旋回中、機首から落下し、木立に衝突して墜落。

操縦者及び同乗者	重傷
機体	大破、火災発生なし

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成8年6月17日～18日、現場調査を実施。
原因関係者として、操縦者から意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

(1) 操縦者	男性	49歳	
	(財)日本航空協会技量認定		No.7795（平成3年7月18日）
	型式の限定		舵面操縦型
	総飛行時間		約200時間
	同型式機による飛行時間		191時間
(2) 同乗者	男性	45歳	
	操縦者の資格なし		

2.2 航空機に関する情報

2.2.1 航空機

型 式	アビアシュド式ミストラルJ-R532L型
事故当時の重量	約320kg（仕様書最大重量 370kg）
総飛行時間	191時間

2.2.2 機体調査

機体、エンジン及びプロペラは、墜落時の損傷以外異常なし。

2.3 気象に関する情報

2.3.1 操縦者によれば、事故現場付近の事故当時の気象は、次のとおりであった。

天気 くもり、風 無風、視程 約5 km

2.3.2 当該空地にいた目撃者によれば、次のとおりであった。

天気 くもり、風向 西南西、風速 1～2 m/s

2.4 その他必要な情報

航空法第11条第1項ただし書き、同法第28条第3項及び同法第79条ただし書きの許可

(1) 操縦者

当該空地から約4 km離れた場外離着陸場における飛行の許可は取得していたが、当該空地での飛行については取得していなかった。

(2) 同乗者

全て取得していなかった。

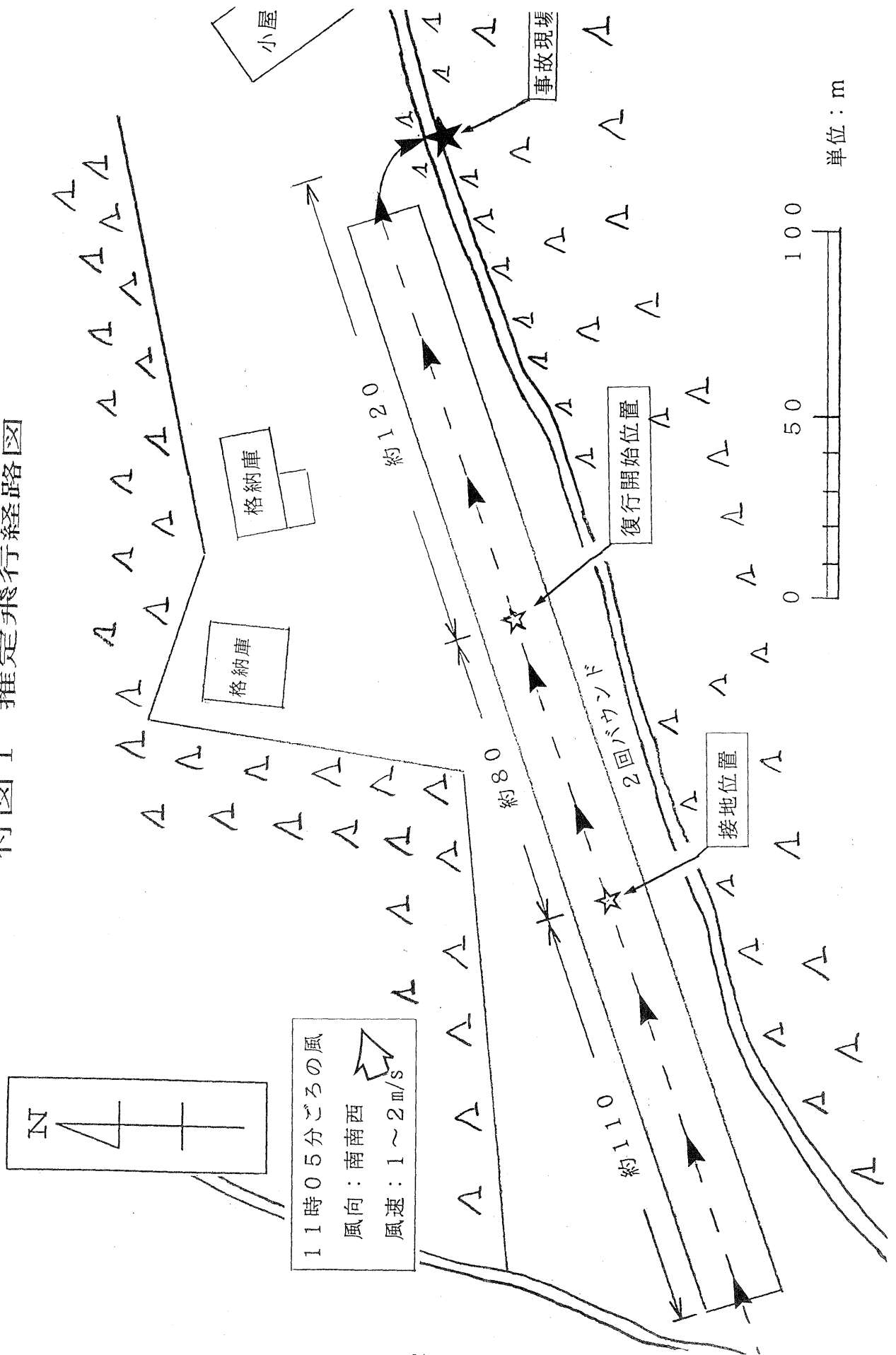
3 事実を認定した理由

同機は、操縦者及び同乗者の2名が搭乗し、当日2回目のフライトとして10時50分ごろ、茨城県西茨城郡岩間町の空地を離陸し、操縦者が場周飛行を行った。着陸の際、離着陸地帯の末端を速度60 km/hぐらいで通過して、離着陸地帯のほぼ1/3付近に接地した。その際、前輪接地となったためバウンドし、2回目のバウンド後、残り約110 m付近で出力を上げ着陸復行を行った。若干背風気味であったことも相まって、同機は、速度を獲得できないまま、正面の小屋を回避するための右旋回を行ったところ、正面に高さ約15 mの立木が目に入った。操縦者は、その立木を越えようと機首を大きく上げたところ失速して機首から落下し、立木の間付近に衝突して墜落。

4 原因

着陸復行を行った際の判断・操作が適切でなく、失速し墜落したものと推定。

付図1 推定飛行経路図



付図2 アビアシュド式ミストラルJ-R532L型
三面図

単位：m

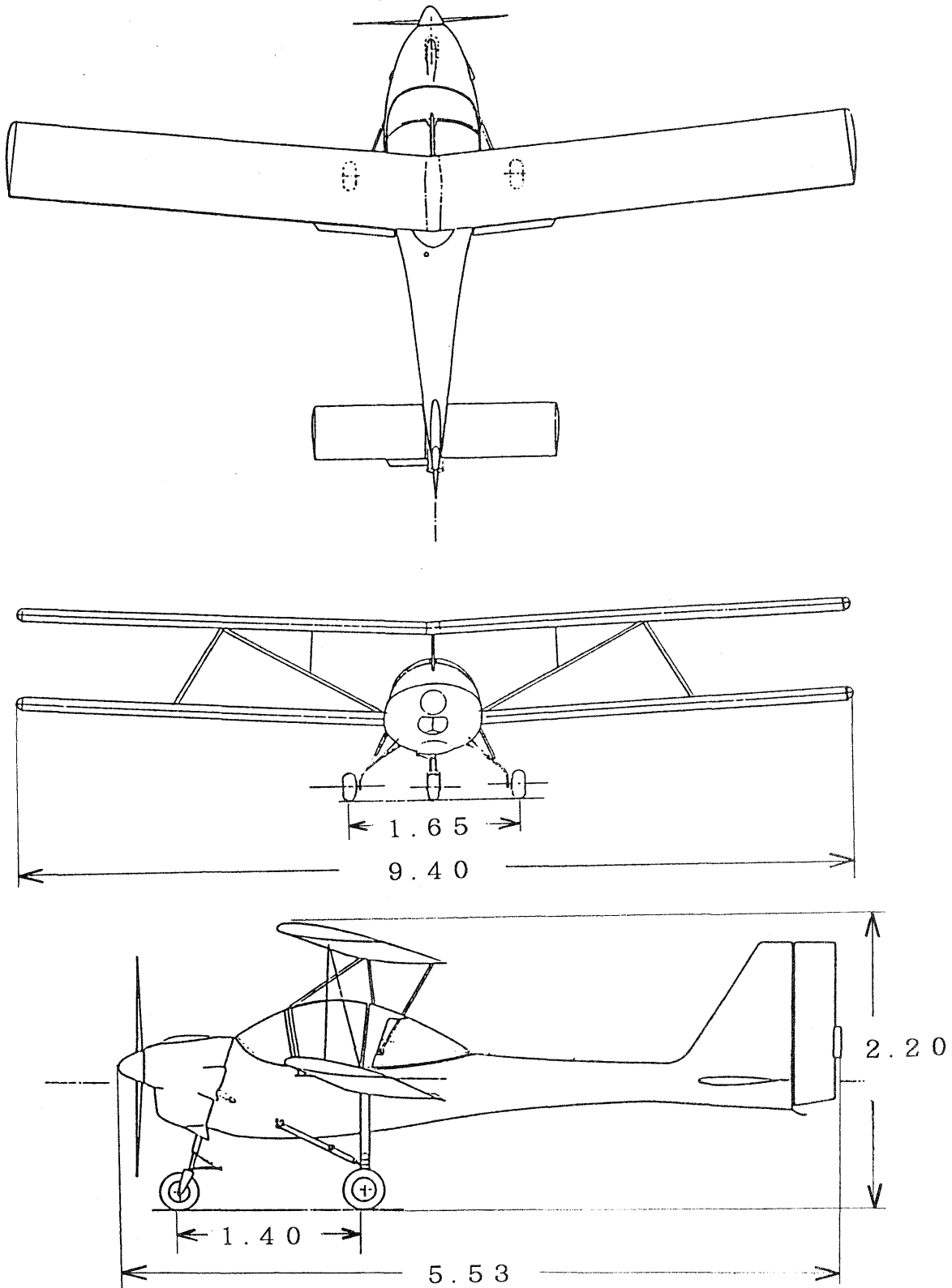


写真 事故機

